



ふじおか

## 社協だより 臨時号 NO.2

社会福祉法人藤岡市社会福祉協議会 ☎22-5647 発行日：令和3年3月15日

### ボッチャ & スカットボールやってみませんか



日本肥糧株式会社様から、ボッチャ5台とスカットボール1台を寄贈していただきました。ヨーロッパ生まれのボッチャは、重度脳性麻痺者や同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。



また、スカットボールは、ボールをスタートラインからスティックで打って得点穴に入れて得点を競う競技です。室内でも屋外でも7メートル×2メートル四方の平らなスペースがあればどこでも設置でき、どなたでも楽しむことができるスポーツです。



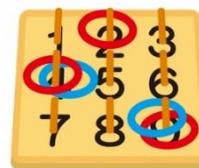
### レクリエーション用具貸出

藤岡市社会福祉協議会ではレクリエーション用具の貸出しを行っています。

ボッチャ、スカットボールのほかに輪投げ、ボウリング、麻雀セット（総合学習センター内での使用のみ貸出）があります。イベントやサロン等にご利用ください。

**対象者** 市内にお住いの方、市内在住・在勤・在学の方で構成された団体、藤岡市社会福祉協議会の特別賛助会員様

**お問合せ先** 藤岡市社会福祉協議会 ☎22-5647



### 地区別福祉情報交換会を開催



日野地区 福祉情報交換会

藤岡市社会福祉協議会では、2月から地区別福祉情報交換会を開催しています。これは、各地域の福祉推進の取り組みや生活課題の情報共有のため、コロナ禍において住民懇談会に代わるものとして開催するものです。

会議では、各地区の地域支え合い協議体のメンバーと各地区社協支部の役員が、「地元の困りごとを解決するため、連携できることはあるか」など、意見を出し合いました。

## 日常生活自立支援事業 生活支援員さんに聞く



### ◎日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約により、日常的な金銭管理や福祉サービスの利用援助等を行うものです。



生活支援員の有我泰春さんに、インタビューしました。

- Q: 支援員をやろうと思ったきっかけは？  
A: 支援員の依頼を受けた時に叔母の成年後見人をしていたので、できるかなと思いやってみました。  
Q: 初めて担当した時の思いは？  
A: とにかくお金を間違わないようにと思い、とても緊張したのを覚えています。  
Q: やっていて、大変なことはありますか？  
A: 他人のお金を預かるのでとても責任のある仕事です。いろいろな相談があり大変だけど、やりがいもあります。複雑な相談は社協の職員に相談するので大丈夫です。  
Q: 思い出に残っている支援は？  
A: ご家族3人に関わった支援です。初めは父親、その後母親、そして息子さんの支援をさせていただきました。ご両親を亡くされた時の息子さんの悲しみをくみ取りつつ、私も辛い中支援を続けたことですね。  
Q: 支援を行う上で心掛けていることは？  
A: 利用者の話を聞くときは、同じ立場、または一歩引いて接するようにしていることです。

有我さん、ありがとうございました。



## かたりべの会による 朗読劇

朗読ボランティアかたりべの会は、昭和55年1月20日に発足した、市内在住の目の不自由な方々に様々な情報を提供している団体です。

活動内容は、藤岡市発行の広報や社協だよりの音訳や小説などの録音図書作成と利用者への発送。また、老人施設を慰問し、朗読劇も行っています。

今年も1月12日に、デイサービスセンター栗須で「藤岡ふるさとの伝説」と「ももたろう」を披露していただきました。

利用者からは、「毎年、かたりべさんの劇を楽しみにしてる」、「話し方がうまいので、話に引き込まれるよ」といった声がありました。



### 令和3年度ボランティア活動保険受付中

ボランティア活動を行う際のケガや事故に備えて「ボランティア活動保険」の加入を受け付けています。加入していただくには、個人、団体とも藤岡市社会福祉協議会への登録が必要です。詳しくは藤岡市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

お問合せ先 藤岡市社会福祉協議会 電話 22-5647

藤岡社協

click